

2011年1月31日

企業の環境情報開示のあり方に関する検討委員会（第2回）資料

# 金融からのアプローチ

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行  
事業開発部CSR支援室長 竹ヶ原啓介

# 環境問題と金融市場の効率性

- 外部不経済等により完全競争市場が成立せず、環境資源（廃棄物の受け皿としての地球環境）の効率的な配分に失敗（市場の失敗）
- 対策（命令・統制的手法 vs. 経済的手法）  
市場的枠組みのなかで、各排出者の利益最大化行動が環境の最適利用につながる経済的手法に軍配（価格機構を通じたコントロール）。
- 税／補助金、排出量、金融等の組み合わせ。  
→既存の市場機能が活用出来る分、金融は最も効率的な手段の一つ。
- 金融市場の効率性を環境問題の解決にどう活用するか？

# 実務的なアプローチ

- ◆将来価値（FV）と現在価値（PV）をつなぐ定数である「金利」を用いて、資産の「価値」を把握
- ◆この価値と価格との乖離をついた裁定（安ければ買い、高ければ売る）
- ◆ミスマプライスは直ちに修正されて、適切なリスク・リターンでバランスする



この「価値」の算定に非財務情報としての「環境」は反映されているのか？

環境経営（ESG経営）はマテリアルなのか？

# 環境問題と金融の具体的な関わり

## ■ 直接金融（IB）：

優良な投資対象の選定基準における「環境」

→環境に配慮した企業活動は、企業価値を増加させるか？

## ■ 間接金融：

信用リスク管理における「環境」

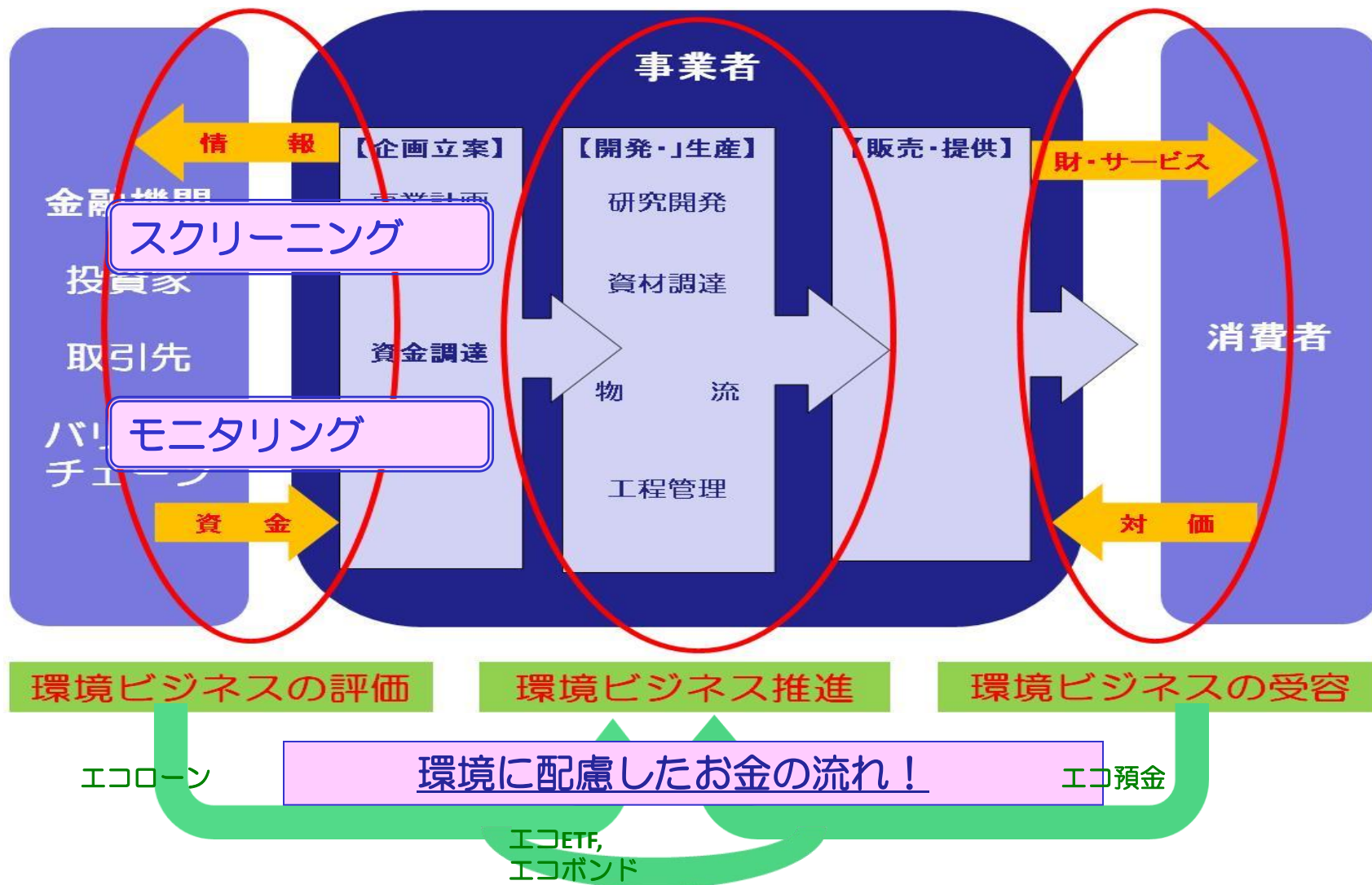
→環境に配慮した企業活動は、融資条件に反映されるか？

## ■ 保 険：

評価対象リスクとしての「環境」

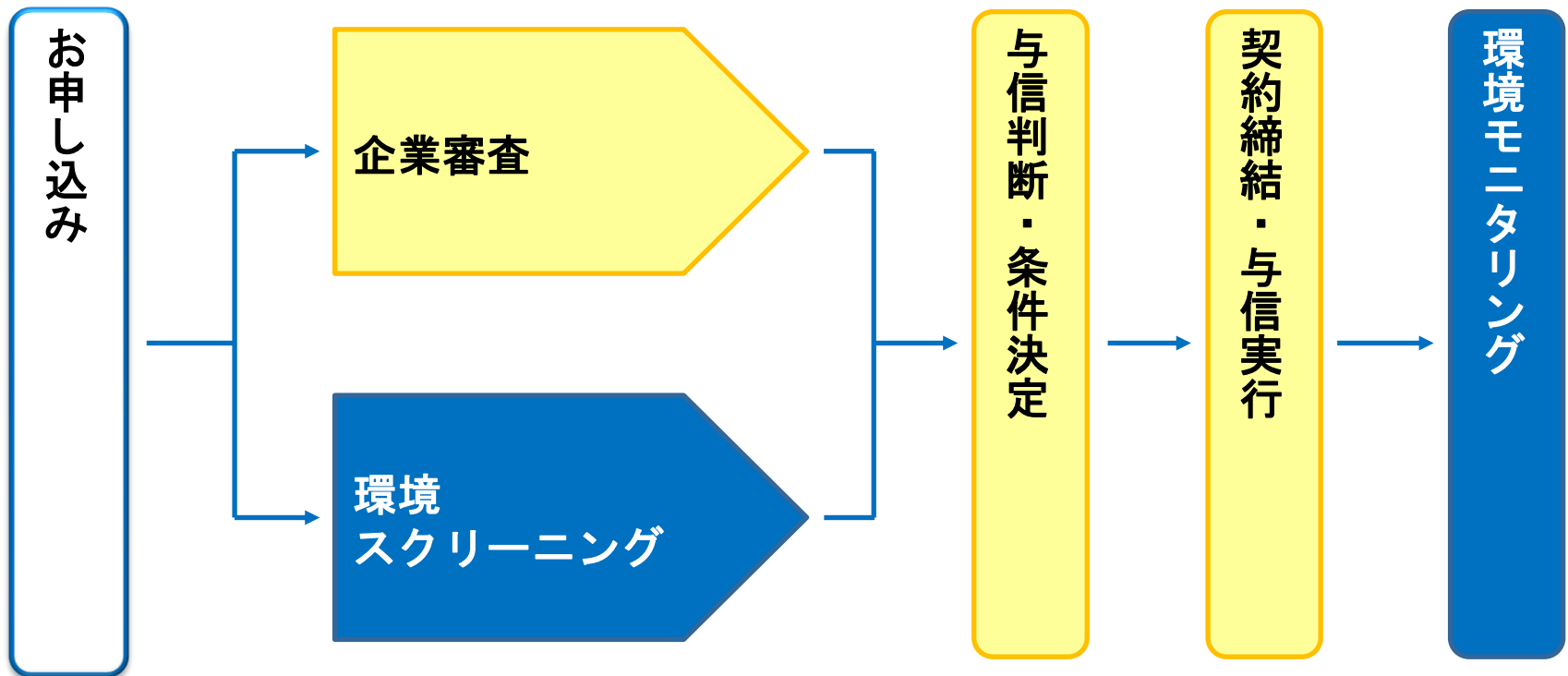
→環境に配慮した企業活動は、保険料率を引き下げるか？

# 環境金融の本質（固有の領域）



# DBJ環境格付融資 プロセス

- UNEP FI(国連環境計画)東京原則を受け、DBJ環境格付を導入
  - 通常の企業審査と並行して、環境スクリーニング(環境格付)を実施。
  - 環境モニタリングによりご融資後の規律付けも実施。



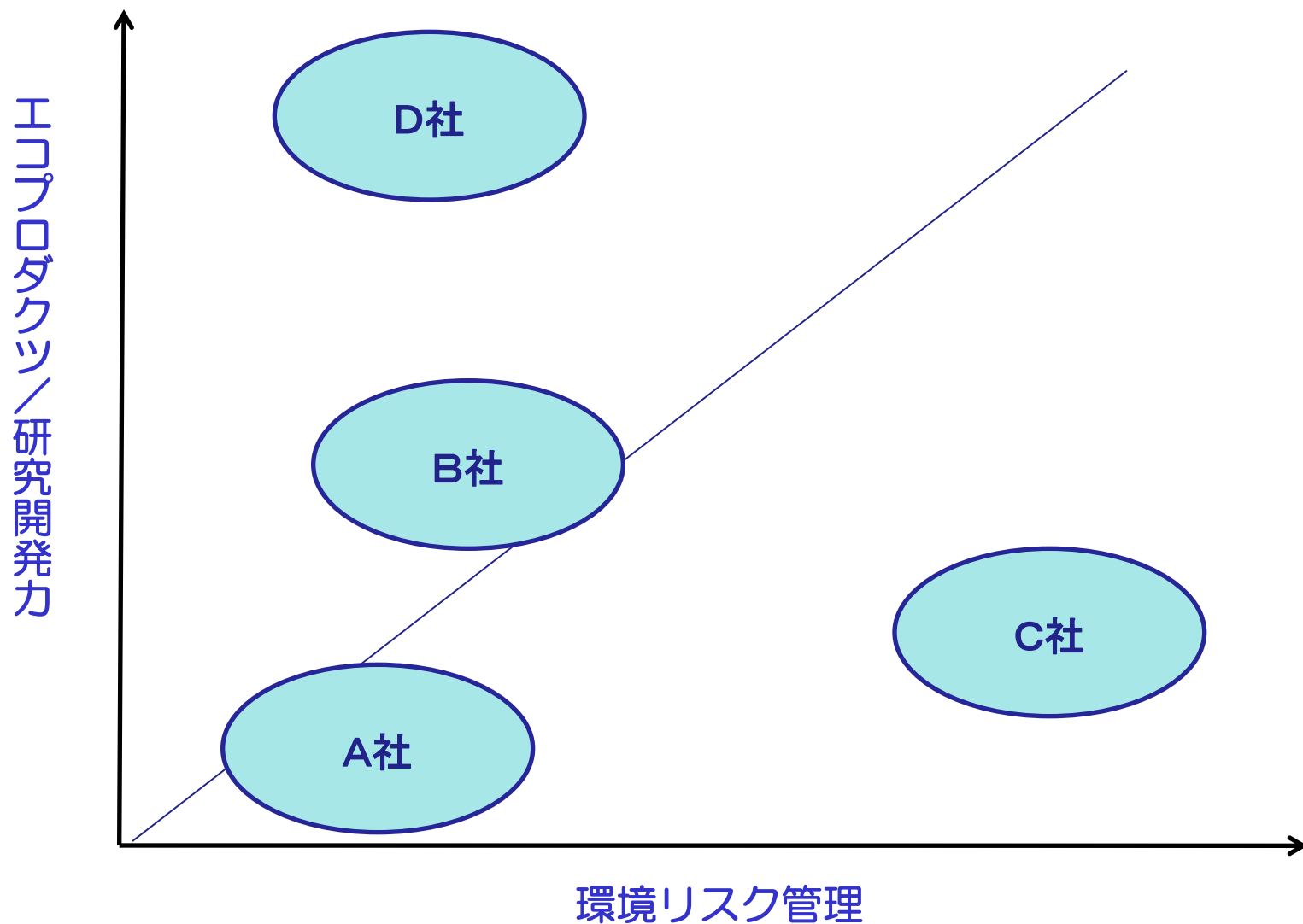
# 「環境スクリーニング」の概要

- ・ 「経営全般」、「事業関連」、「パフォーマンス関連」の3分野、合計約120の評価項目  
(250点満点、スクリーニングシステムはDBJが独自に開発)
- ・ 業種特性を勘案し、業種毎に設問を組み替えたスクリーニングシートを用意

## 【スクリーニングシートの例（製造業）】

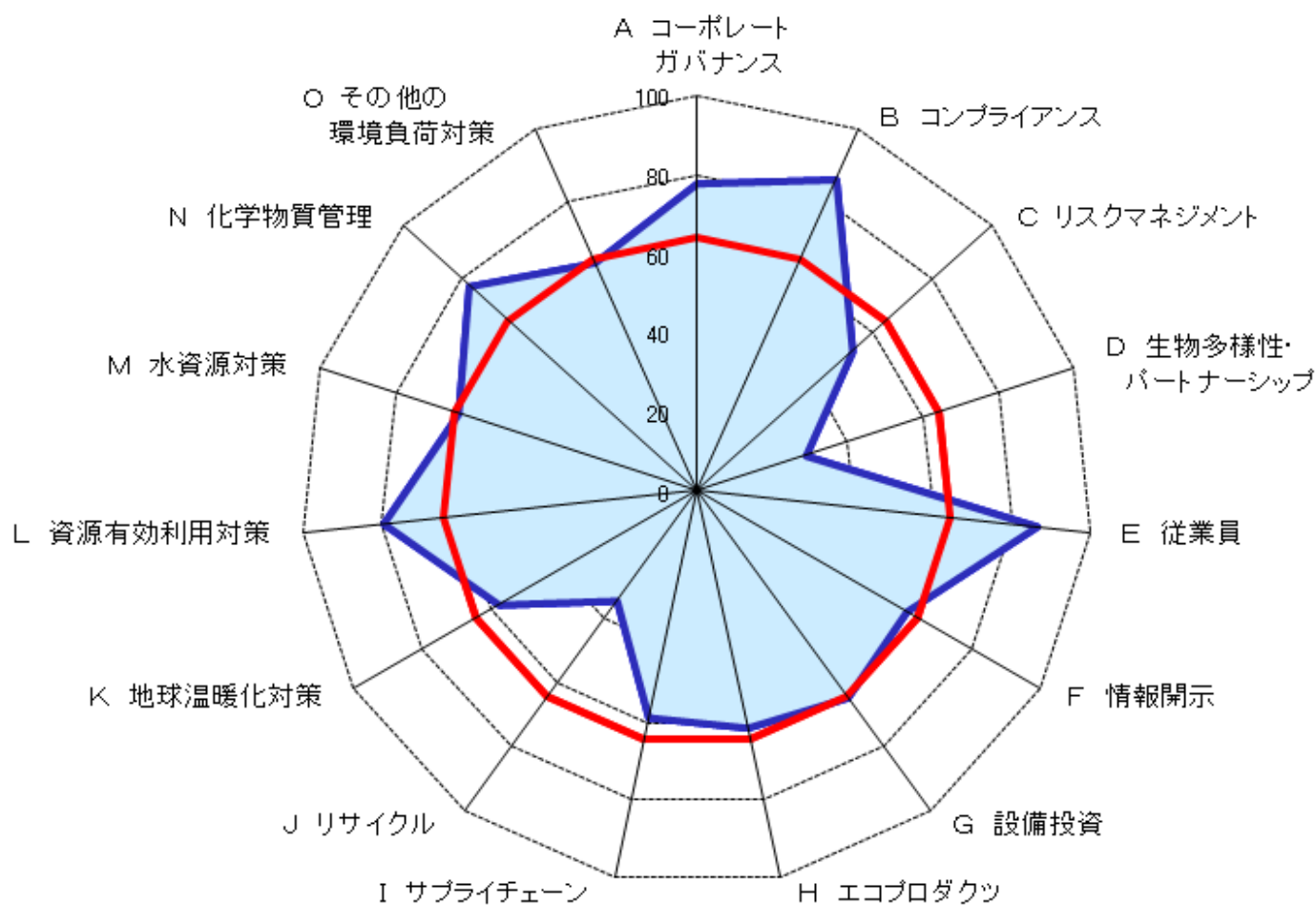
|             | 評価項目               | 備考   |
|-------------|--------------------|--|
| 経営全般事項      | A コーポレートガバナンス      | 全業種共通。<br>環境配慮型経営が組織全体に共有されているかを問う設問。                      |
|             | B コンプライアンス         |  |
|             | C リスクマネジメント        |  |
|             | D パートナーシップ・生物多様性   |  |
|             | E 従業員              |  |
|             | F 情報開示             |  |
| 事業関連事項      | G 設備投資             | 業種毎に組み替え。<br>事業の流れ全般にわたる環境対策を問う設問。                         |
|             | H 製品・サービス開発        |  |
|             | I サプライチェーンにおける環境配慮 |  |
|             | J 使用済み製品リサイクル      |  |
| パフォーマンス関連事項 | K 地球温暖化対策          | 業種毎に組み替え。<br>本業のエミッション対策を中心に、3期分の実績を総量、原単位、環境効率性の観点から定量評価。 |
|             | L 資源有効利用対策         |  |
|             | M 水資源対策            |  |
|             | N 化学物質管理           |  |
|             | O その他環境負荷対策        |  |

# DBJ環境スクリーニングの視点





# 評価結果に見るポイント



\* 赤線は総得点の得点率平均  
青線は項目別の得点率

# DBJ環境格付融資 ご利用企業様

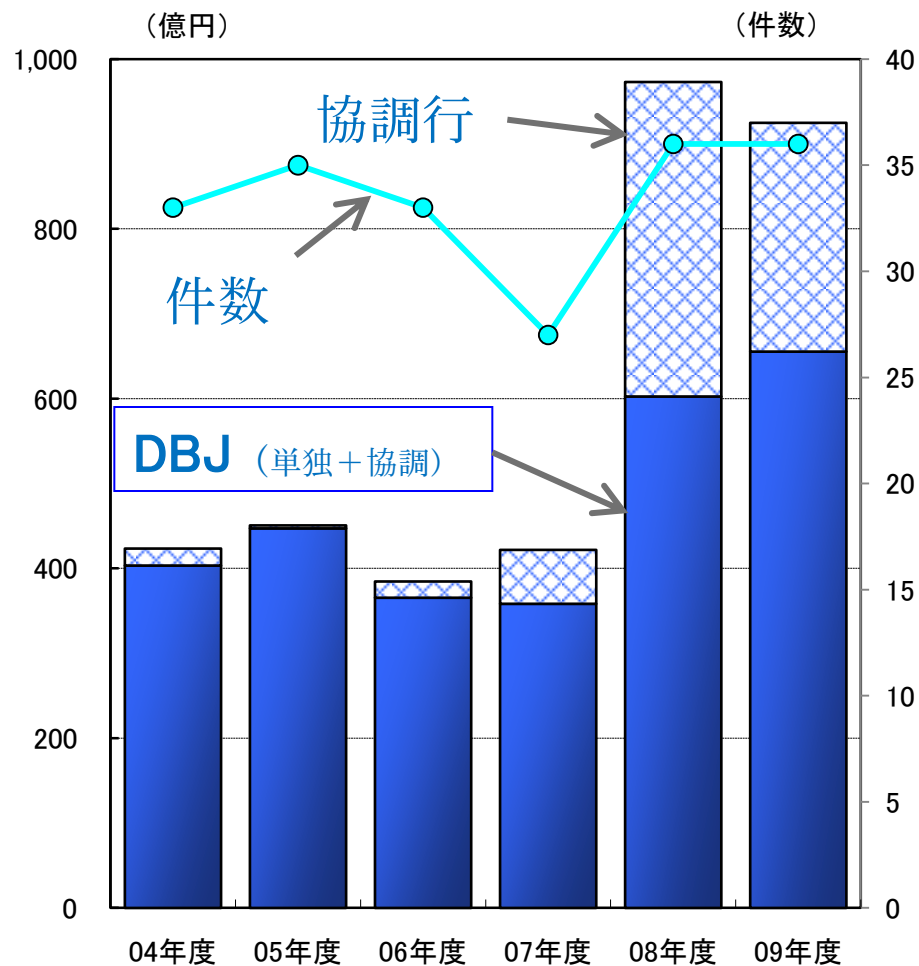
|   |  |   |  |   |   |  |   |   |   |
|---|--|---|--|---|---|--|---|---|---|
| <br>住友金属工業 様          | <br>宇部興産株式会社 様        | <br>大日本スクリーン製造 様 | <br>サラヤ 様           | <br>DCS & Labeling Worldwide 様 | <br>おいしさを笑顔に<br>KIRIN<br>キリンホールディングス 様 | <br>大建工業 様      | <br>新日本印刷株式会社 様  | <br>硬水化学工業 様       | <br>JKK東京<br>東京都住宅供給公社 様 |
| <br>カナカ 様             | <br>東洋紡績 様            | <br>住江織物株式会社 様   | <br>日本貨物鉄道 様        | <br>井関農機 様                     | <br>近畿日本鉄道株式会社 様                       | <br>シーア化成株式会社 様 | <br>東彩ガス 様       | <br>ユニゾーン 様        | <br>グンゼ 様                |
| <br>北陸瓦斯 様            | <br>ヤンマー 様            | <br>日本触媒 様       | <br>南海電気鉄道 様        | <br>旭化成 様                      | <br>フレスタ 様                             | <br>旭硝子 様       | <br>ダイナックス 様     | <br>DOWAホールディングス 様 | <br>神戸製鋼グループ<br>神戸製鋼所 様  |
| <br>NECキャピタルソリューション 様 | <br>日本インシュレーション株式会社 様 | <br>イオンモール 様     | <br>日本合成化学工業 様      | <br>クレハ 様                      | <br>カゴメ 様                              | <br>イチネン 様      | <br>SGホールディングス 様 | <br>西川コム工業 様       | <br>日本農薬 様               |
| <br>横浜ゴム 様            | <br>大王製紙 様            | <br>旭カーボン株式会社 様  | <br>ティラド 様          | <br>日立金属 様                     |   |  |   |   |   |
| <br>ダイヘン 様            | <br>グローブライド 様         | <br>朝日工業 様       | <br>マックスバリュ中部株式会社 様 | <br>住友精化株式会社 様                 |   |  |   |   |   |
| <br>ディスコ 様            | <br>昭和電工 様            | <br>エフピコ 様       | <br>東ソー 様           | <br>TDK 様                      |   |  |   |   |   |
| <br>京阪セロファン 様        | <br>サカイオーベックス 様      | <br>バロー 様       |  |   |   |  |   |   |   |

2008年度以降の案件  
(実行日順・一部)



# DBJ環境格付融資実績

2010/9末累計 3,018億円 216社



■ 他行との協調融資を含めた  
DBJ環境格付融資は、3,794億円

## 最近の環境シ・ローン案件

【2008年度】

住友金属様、南海電鉄様  
キリンHD様、積水化学工業様

【2009年度】

SGホールディングス様、朝日工業様

【2010年度】

エフピコ様

# 環境クラブ型シローン「エコノワ」 (\*)



(アレンジャー)

(招聘)

三菱UFJ信託銀行

地銀・第二地銀 10行

足利銀行

茨城銀行

広島銀行

もみじ銀行

滋賀銀行

北陸銀行

西日本シティ銀行

北洋銀行

みなと銀行

常陽銀行



2009

環境意識の強い金融機関により組成されるシンジケートローン

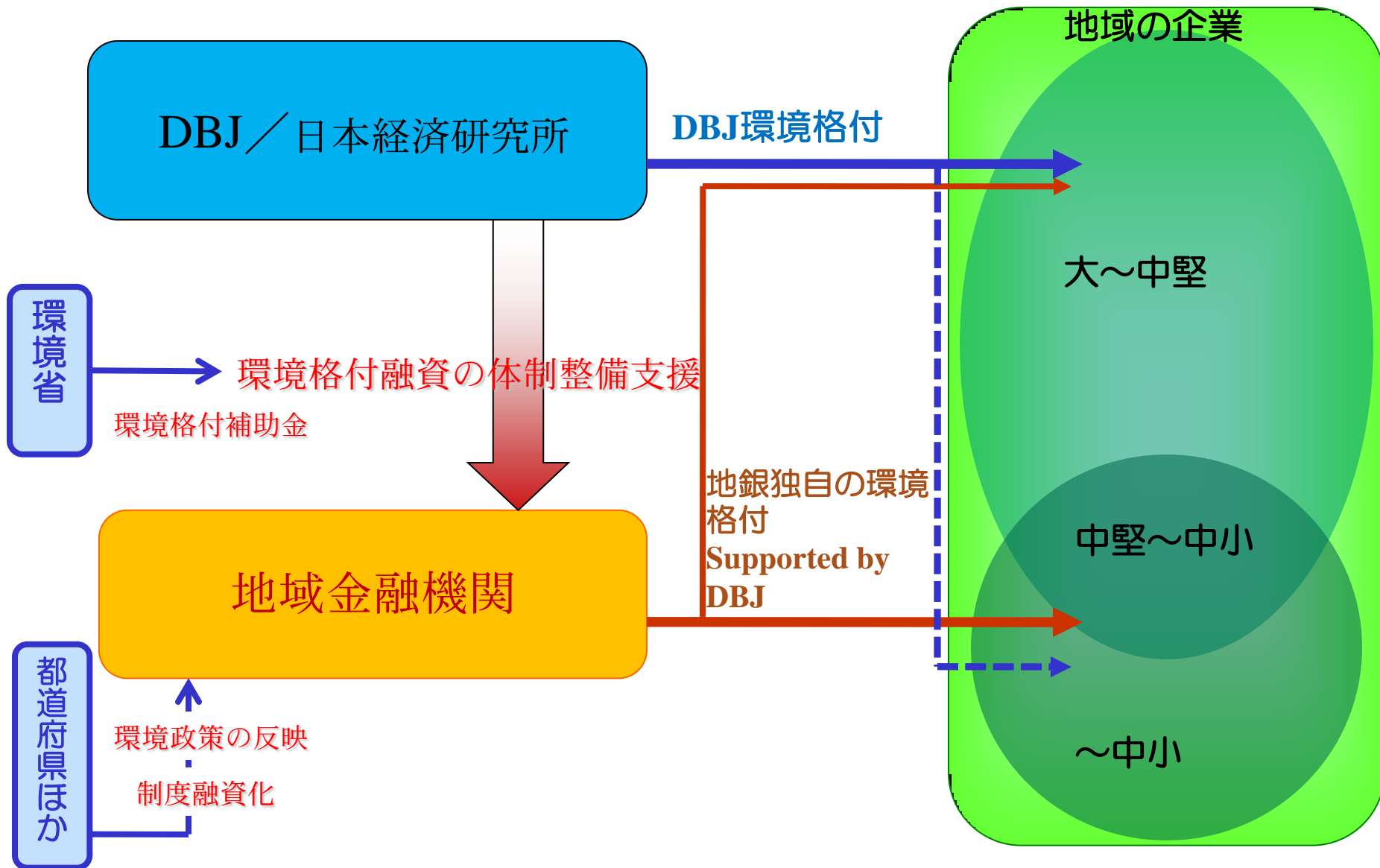
おいしさを笑顔に

**KIRIN**

- ①再生可能エネの活用、燃料転換等網羅的な対策によるCO2排出量の削減
  - ②「キリン水源の森づくり」による森林保全活動の展開
  - ③ビール工場等で発生する副産物・廃棄物の100%再資源化の早期達成と維持
- 最高ランク格付  
モデル企業として特別表彰

(\* ) エコノワ=環境意識の高い金融機関のみで組成。「Ecology」のワ=環境の「輪・和・環」からの命名。

# 広がる環境金融の輪



# 評価に際しての課題

- 企業規模による相違
- バウンダリーの問題
  - ー ホールディングカンパニー
  - ー 海外と国内
  - ー サプライチェーン（BESフットプリントと紛争鉱物など）
- パフォーマンスの質的評価
  - ー 業種と環境側面
  - ー なりゆきの改善と経営努力による改善の峻別
  - ー 適切な原単位の選定
- SRとの接続（ISO26000）
  - ー コンプライアンスの対象範囲
  - ー 企業活動範囲の広さとSR側面のバランス

# ご清聴ありがとうございました！

著作権(C) Development Bank of Japan Inc. 2011

当資料は、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)により作成されたものです。

当資料は、貴社及び当行間で検討／議論を行うことを目的に貴行限りの資料として作成されたものであり、特定の取引等を勧誘するものではなく、当行がその提案内容の実現性を保証するものではありません。

当資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および当行が合理的と判断した一定の前提に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、ここに記載されている内容は、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

当資料のご利用並びに取り組みの最終決定に際しましては、貴行ご自身のご判断でなされますよう、また必要な場合には顧問弁護士、顧問会計士などにご相談の上でお取り扱い下さいますようお願い致します。

当行の承諾なしに、本資料(添付資料を含む)の全部または一部を引用または複製することを禁じます。